

特別養護老人ホーム晃風園ぬくもり

運営推進会議 会議録

■ 日 時：令和5年3月22日（水）14：38～15：40

■ 場 所：晃風園ぬくもり1階地域交流室

■ 出欠の状況：運営推進会議構成員（5名出席）

深見大和地区社会福祉協議会顧問

島津自治会長

あゆみの会会員

深見大和地域包括支援センター職員

大和市健康福祉部介護保険課事業者指導担当

施設職員（2名）

三 河 幸 司（管理者）

田 邊 利 保（書記）

■ 運営推進会議の概要

1 会議の開会

- ・定刻22分前に開会
- ・三河管理者が議長となり会議を進行

2 議 題

（1）行事の報告及び予定

- 三河管理者が2月から3月までに実施した行事、出来事と今後の予定について報告
 - ・2月上旬、東海大学看護学科の実習生3名が来られた。東海大学の実習は11月、12月、1月、2月と4カ月にわたり行い、来年度も同様な形で実習を行う予定。
 - ・2月15日に Mr.マリック&マギー司郎オンライン・マジック・ショーを地域交流室と各ユニットのテレビを使い観てもらい楽しんだ。
 - ・2月21日の美容室で18名の方がヘアカットを行った。
 - ・2月22日に豆まき、コロナの事も時期をずらして行った。
 - ・2月23日ぬくもり喫茶、3階のご利用者だけで交流室に集まり実施
 - ・3月11日東日本大震災が発生した日に“グラリ3分”一斉行動訓練
今回、防災ラジオの放送を館内放送で施設全体に流して各ユニットでも確認できるようにして実施した。
 - ・今後の予定として、お花見を実施して行きたい。

（2）施設の近況報告

- 三河管理者が報告

- ・稼働率は1月が長期入所91.5%、短期入所80.3%、2月が長期入所95.3%、短期入所88.2%であった。
12月にコロナの感染者が出たことで1月2月ともに実績の方はだいぶ落としている。
- ・外出・外泊の予定はなし。
- ・利用者の状況は長期入所が2月6日と22日に2名が入所し満床。退所者はなし。
- ・入院者が4名で1月に2名、3月に2名。1月の入院者2名はコロナ感染により入院。

(3) 新型コロナウイルスに関する対応

○三河管理者から説明

- ・施設内で新型コロナに感染した職員と利用者の情報を整理した。
- ・令和4年2月に職員1名感染した。定期的な施設でのPCR検査で陽性が分かった。
- ・7月は職員4人が家族や飲食から感染し、8月に職員2名が家族から感染した。
- ・11月30日に職員が1名陽性となり、抗原検査を実施したところ別の職員も陽性が判明した。そのユニットのご利用者2名が陽性である事が判明し、ご家族と相談し入院対応をした。12月に職員2名が家族から感染。
- ・令和5年1月、職員1名が家族から感染し、その後、ご利用者の体調不良が確認されて念のため抗原検査を実施したところ3名の陽性が判明した。この感染源は不明。そのうちの2名が入院。
- ・2月に短期入所のご利用者から1名、コロナ感染者が出ている。抗原検査で陰性、インフルエンザの検査も陰性だった。原因が分からないまま熱が上がったので病院受診をしたところ陽性と判明し、療養するために別の病院に転院したが、その病院で亡くなられた。抗原検査の結果だけで判断するのは危ないことと、体調不良があった時に今の時期は新型コロナウイルスを念頭に置いた対応が必要と考えている。
- ・3月に職員1名の陽性が判明し、そこから感染拡大で短期入所のご利用者4名が感染。職員が出勤後に体調が悪いので抗原検査をしたところ陽性、その後にご利用者4名が感染している。
- ・施設で一人感染者がいると、逆に密閉した空間という事もあり広がっていく、難しい事だと思っている。

(質問・意見等)

新型コロナウイルスに対する感染予防対策と職員の取り組みに対する評価について意見をいただいた。また、何に基づいて感染対策を行っているかとの質問や感染後の迅速な対応と感染されたご利用者の家族に対し丁寧な経過説明、説明責任が求められるとの意見が出された。

(4) 令和5年度事業計画

○三河管理者から報告。

- ・令和5年度は長期入所、短期入所それぞれ97%と95%の目標を立てている。合わせて合計96%の稼働で目標としている。
- ・来年度、取組発表という形で各係が目標を掲げ取り組むことになった。4月から9月まで取り組みを行い10月に発表を行う。
 - ア、医務・相談係の目標は「ご利用者を理解できる職員になる」、取り組みとしては「活動プログラムを通じてコミュニケーションをとる」
相談係と医務係の職員とご利用者が輪になってお話する、物作りをするなどを定期的にやって行く。
 - イ、介護係の方は「利用者さんがたくさん笑顔になり元気になれるケアができる」を目標にしている。取り組みとしては「ポジティブな記録を増やすこと」
一人一人のご利用者について前向きに感じたことを記録に残し、医務・相談係のプログラムと合わせて皆に元気になってもらうよう取り組む。
 - ウ、栄養係の目標は「温かい環境で働く仲間を増やして笑顔で仕事をする」
取り組みが「明るく話しやすい環境づくり」
栄養係は、調理員が仕事量も多く衛生面でも厳しい環境なので新しい職員がなかなか定着しない。職場の空気を悪くしてしまう所があるので仲間が結束して業務に取り組めるようにして行く

(5) その他

(会議全体を通しての質問・意見等)

晃風園ぬくもりは市内の水害災害危険区域に入っているため、避難計画や避難訓練の取り組み状況について地域の人と積極的に共有することで災害時に連携が図れる。運営推進会議の場を活用してコミュニケーションをとると良いのではとの提案があった。また、新型コロナウイルスによりここ3年地域との関わりがほとんど無くなってしまったので、以前のように農園カフェ、ぬくもり喫茶などに地域のボランティアが参加し交流が出来たら地域密着がさらに深まるのではないかとの意見が出された。

3 閉 会

新年度の委員委嘱の件を伝え次回会議の出席をお願いして閉会。